

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公表番号】特表2014-504146(P2014-504146A)

【公表日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2013-518619(P2013-518619)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	5/0784	(2010.01)
C 1 2 N	5/0786	(2010.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/0783	(2010.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	7/06	
C 1 2 N	5/00	1 0 2
C 0 7 K	16/18	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	35/76	
G 0 1 N	33/53	D
C 0 7 K	14/47	
C 1 2 N	5/00	2 0 2 M
C 1 2 N	5/00	2 0 2 N
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 N	5/00	2 0 2 L

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月8日(2014.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の(a)または(b)の単離されたペプチド：

(a) SEQ ID NO: 13、6、8、12、14、19および29からなる群より選択されるアミノ酸配列を含み、細胞傷害性Tリンパ球(CTL)誘導能を有する15アミノ酸未満の単離されたペプチド；

(b) 細胞傷害性Tリンパ球(CTL)誘導能を保持する改変ペプチドを得るよう SEQ ID NO: 13、6、8、12、14、19および29からなる群より選択されるアミノ酸配列において1個、2個、または数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入または付加されているアミノ酸配列を含む、15アミノ酸未満の単離されたペプチド。

【請求項2】

ノナペプチドまたはデカペプチドである、請求項1記載の単離されたペプチド。

【請求項3】

以下からなる群より選択される少なくとも1つの置換を有する、請求項1または2記載のペプチド：

(a) SEQ ID NO: 13、6、8、12、14、19または29のN末端から2番目のアミノ酸がフェニルアラニン、チロシン、メチオニンおよびトリプトファンからなる群より選択されるアミノ酸であるか、または前記アミノ酸になるように改変されている、ならびに

(b) SEQ ID NO: 13、6、8、12、14、19または29のC末端アミノ酸がフェニルアラニン、ロイシン、イソロイシン、トリプトファンおよびメチオニンからなる群より選択されるアミノ酸であるか、または前記アミノ酸になるように改変されている。

【請求項4】

SEQ ID NO: 13、6、8、12、14、19および29からなる群より選択されるアミノ酸配列からなる、単離されたペプチド。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項6】

CTLを誘導するための組成物であって、請求項1～4のいずれか一項記載の1種もしくは複数種のペプチド、または請求項5記載の1種もしくは複数種のポリヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項7】

(a) 請求項1～4のいずれか一項記載の1種もしくは複数種のペプチド；

(b) 請求項5記載の1種もしくは複数種のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとHLA抗原との複合体を自身の表面上に提示する1種もしくは複数種のAPCまたはエキソソーム；または

(d) 請求項1～4のいずれか一項記載のペプチドとHLA抗原との複合体を自身の表面上に提示する細胞を認識する1種もしくは複数種のCTL、を含み、薬学的に許容される担体と組み合わせて

(i) 現存するがんの治療、

(ii) がんの予防、

(iii) 術後のがんの再発の予防、および

(iv) それらの組み合わせ

からなる群より選択される目的のために製剤化される、薬学的組成物。

【請求項8】

H L A 抗原が H L A - A 2 4 である対象への投与のために製剤化される、請求項7記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

以下からなる群より選択される段階を含む、C T L 誘導能を有する抗原提示細胞 (A P C) を誘導するためのインビトロの方法：

(a) A P C を請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとインビトロで接触させる段階、および

(b) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをコードするポリヌクレオチドを A P C に導入する段階。

【請求項 10】

以下からなる群より選択される段階を含む、C T L を誘導するためのインビトロの方法：

(a) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示する A P C と共に培養する段階、

(b) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示するエキソソームと共に培養する段階、および

(c) T 細胞受容体 (T C R) サブユニットポリペプチドによって形成される T C R が細胞表面で H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体に結合することができる、該 T C R サブユニットポリペプチドをコードする 1 つもしくは複数のポリヌクレオチドを T 細胞に導入する段階。

【請求項 11】

H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示する、単離された A P C 。

【請求項 12】

以下からなる群より選択される段階を含む方法によって誘導される、請求項11記載の A P C :

(a) A P C を請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとインビトロで接触させる段階、および

(b) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをコードするポリヌクレオチドを A P C に導入する段階。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドを標的とする、単離された C T L 。

【請求項 14】

以下からなる群より選択される段階を含む方法によって誘導される、請求項13記載の C T L :

(a) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示する A P C と共に培養する段階；

(b) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示するエキソソームと共に培養する段階；および

(c) T 細胞受容体 (T C R) サブユニットポリペプチドによって形成される T C R が細胞表面で H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体に結合することができる、該 T C R サブユニットポリペプチドをコードする 1 つもしくは複数のポリヌクレオチドを T 細胞に導入する段階。

【請求項 15】

対象においてがんに対する免疫応答を誘導するための組成物であって、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドもしくはその免疫学的活性断片、または該ペプチドもしくは該断片をコードするポリヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 16】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドと H L A 抗原とを含む複合体を提示する、エキソソーム。

【請求項 17】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをコードするヌクレオチド配列を含むベクター。

【請求項 18】

請求項 17 記載のベクターで形質転換またはトランスフェクトした宿主細胞。

【請求項 19】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドに対する抗体、またはその免疫学的活性断片。

【請求項 20】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチド、請求項 5 記載のポリヌクレオチド、または請求項 19 記載の抗体もしくは免疫学的活性断片を含む、診断キット。

【請求項 21】

C T L 誘導能を有する A P C を誘導するための組成物であって、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載の 1 種もしくは複数種のペプチド、または請求項 5 記載の 1 種もしくは複数種のポリヌクレオチドを含む、組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 4 5】

【表 1】

対応する正常組織と比較して、がん性組織において

WDHD1の上方制御が観察された症例の割合

癌	割合
膀胱癌	4/11
乳癌	1/5
子宮頸癌	8/8
胆管細胞癌	1/12
CML	19/22
食道癌	15/34
胃癌	3/3
リンパ腫	1/3
骨肉腫	5/11
前立腺癌	2/27
腎癌	2/11
SCLC	3/7
NSCLC	1/1
精巣腫瘍	3/3